

蔵書の選書方針

- 1 図書室整備運営委員会で承認されたもの。
- 2 医学情報資料（一般娯楽図書、闘病記、病気に関するエッセイ等は原則として収集しない）。
- 3 本センターの治療・診断方針に沿わないものは選書しない。
- 4 一つの治療方法のみに偏った資料は選書しない。
- 5 常に最新の資料を選択する（原則として発行後5年以内のもの）。
- 6 担当医の治療方針による書籍やDVD類を積極的に受け入れる。

選書の基準

1. 診断・治療法理論が確立した信頼できる内容であること。
2. 定評のある学会や著者の著作。
3. 専門家による推薦があるもの。
4. EBM、EBNを意識して編集（執筆）されているもの。
5. 最新の版（旧版は、原則として除架する）。
6. 医学書を出版している出版社のもの。

医学専門書

- (1) 人体の構造と機能をわかりやすく解説しているもの。
- (2) 疾病についての概説書。
- (3) 教科書。
- (4) 生活習慣に関する啓蒙書、入院生活のQOLを高める啓蒙書。
- (5) 診療ガイドライン。

医学辞書・事典

- (1) 日本語の代表的なもの。

医薬品集

- (1) 代表的なもの

名簿・住所録

- (1) 全国の病院の所在地、組織などが紹介されているもの。
- (2) 医学研究者の所属や専門分野が紹介されているもの。
- (3) 患者団体の代表者、連絡先などが紹介されているもの。

視聴覚資料

- (1) イラスト等を使ってわかりやすく説明しているもの。

雑誌

- (1) 総合医学雑誌

パンフレット・リーフレット

- (1) 患者を対象として作成されたもの。
- (2) 疾病と食事について解説しているもの。
- (3) 臨床検査の目的を説明しているもの。
- (4) 専門医による推薦のあるもの。
- (5) 患者団体の案内。

赤十字関係図書

- (1) 赤十字の活動について、わかりやすく説明しているもの。

WEB情報提供の方針

- (1) Eヘルス倫理コード（医療系WEBサイトの質と信頼性を高めるために日本インターネット医療協議会によって提供されている指針：JIMA）に準拠した情報等を提供する。

寄贈の申込みに対する方針

- (1) 寄贈された資料のうち、図書室整備運営委員会で承認されたもの、また選定の基準を満たしたものを蔵書とする。